

第52回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】放射線監視装置の表示数値の単位について

役場庁舎 1階住民課前にある「環境放射線監視データ表示装置」の空間放射線量率の単位が「nGy/h」となっており、原子力規制委員会や東京電力ホールディングス(株)のHPでは「 μ Sv/h」で表示されているため、「 μ Sv/h」へ表示を変更してはどうか。

⇒【村長コメント】

「環境放射線監視データ表示装置」を運用しているのは茨城県原子力安全対策課であり、その改修が可能かを含め、担当課を通して相談させる。

⇒【防災原子力安全課からのコメント】

平成30年10月24日から、「環境放射線監視データ表示装置」の空間放射線量率の単位が「 μ Sv/h」へ変更されました。

【2】税金について

主人の自営業がうまくいかず、自分も働いていたが、最近は体調が悪く、働けなくなり、収入がない状況。それでも、税金を払い続けなくてはならないのか。これまで滞納してしまった税金の支払いもあるので、支払えず困っている。

⇒【村長コメント】

今、手元に生活や所得状況等の個別の資料がないので、結論を出すことは難しいが、収入がなければ、税金の支払猶予等、何らかの制度が適用できるかもしれないので、直接税務課の窓口にご相談してほしい。

【3】村政懇談会での話し合い（真崎地区への第二集会所の設置）について

真崎地区内への第二集会所の設置について、以前から話をしているが、担当課（地域づくり推進課）へ行くと、真面目に検討する気がないようだ。何を聞いても、回答が返ってこない。集会所を設置する、しないにかかわらず、まずは、村民と村とが一緒に席について、地域の在り方について話す機会があってもよいのではないか。空き家の活用等の案もあったはずなので、現在どのようなになっているのか？

現在、担当課でアンケートを実施しているが、「できない」というための根拠づくりにすぎないのでは？

⇒【村長コメント】

真崎地区への第二集会所の設置について、担当課で案を考えたが、その案について、私が不可と判断した。制度だけを作るより、なぜ必要なのかよく話し合うべきと考える。

今後、真崎（根崎）地区の思いのある方々のところへ出向いて、村として現在の考えを説明しなければならぬし、もし集会所の設置ができなければ、どのように対応するのがよいのか、一緒に考えたいと思っている。早めに対応したい。

【4】村バスについて

電車とのつながりが悪く、「東海駅東口～フローレスタ須和間・南台・緑ヶ丘循環線」について、バスの時刻表を変えてもらいたい部分があるので検討してほしい。バスは大抵遅れて着くので、電車に間に合わない。

- ①右回り…東海駅東口着 7:22→東海駅発の特急 7:33
- ②左回り…東海駅東口着 8:55→東海駅発の電車 8:59
- ③左回り…緑ヶ丘にある自宅に帰る際に、土日だと最終便が 18:35 なので、早すぎる。
- ④左回り…東海駅東口発 20:05 のバスについて、その直前に東海駅着の特急があるが、電車が遅れた場合は、その電車を待っていてもらえるようにはできないか。
- ⑤その他ご意見…高校生など、若い人たちがバスに乗らずに、保護者が駅前に迎えに来て行列ができています。年寄りだけではなく、若い人たちにもバスの利用をPRしてはどうか（例：雨の日のバス利用、中学3年生向けに、高校生になったらバスを利用することをPRするなど）。

⇒ **【村長コメント】**

バスの時刻表については、茨城交通等との話し合いも必要となるため、担当課へ伝え、検討させる。

⇒ **【企画経営課からのコメント】**

茨城交通に対して、運行状況（特に遅延の発生頻度）を確認し、対応策については次回の公共交通会議において協議します。